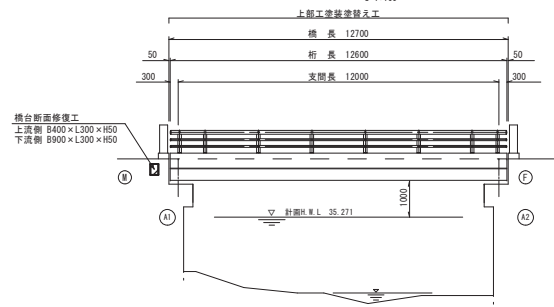
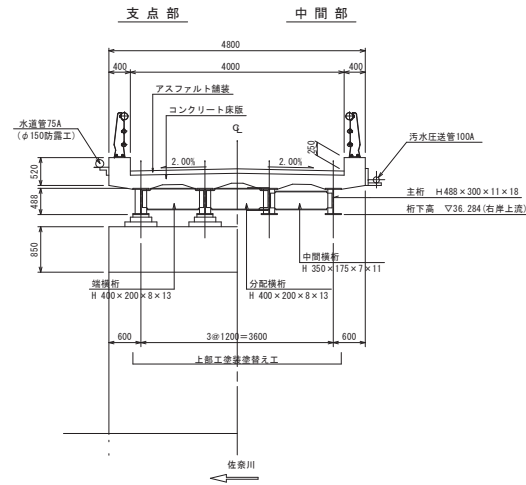


# 落合橋 修繕工一般図

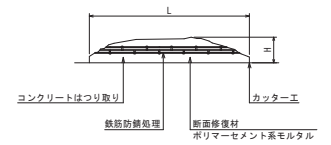
側面図 S=1:100



断面図 S=1:50

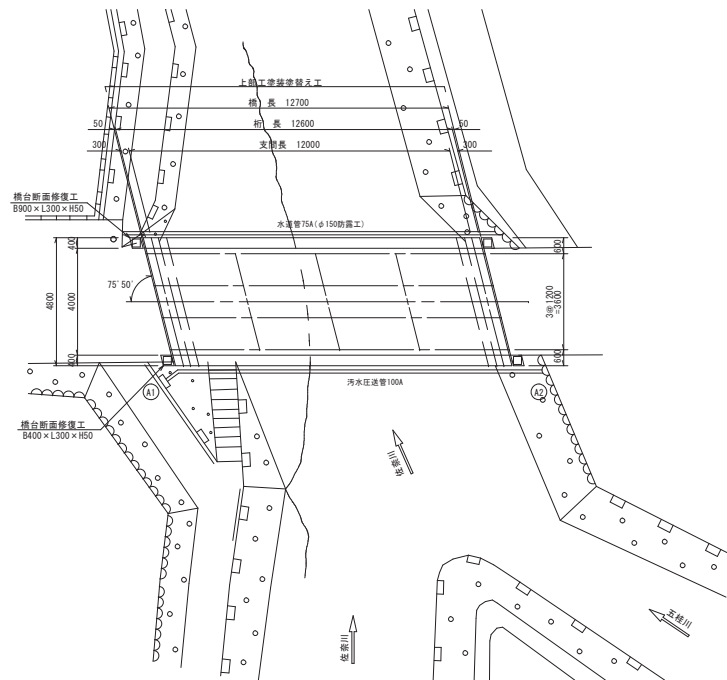


断面修復工詳細図



※ 断面修復については修復箇所周囲にコンクリートカッターを使用すること。  
 なお、コンクリートカッター使用時に鉄筋を切断しないようにすること。  
 ※ 断面損傷部の補修においては、施工前に詳細調査を行い、施工位置・寸法を確認すること。  
 施工位置・寸法が現状と不適合と判断される場合には、別途監理員と協議すること。  
 ※ 鉄筋防錆処理について  
 カップワイヤー等で十分に鉄筋をケレンした後、水洗いを行い下地及び鉄筋を清掃する。  
 防錆材は鉄筋に均一に塗布する。

平面図 S=1:100



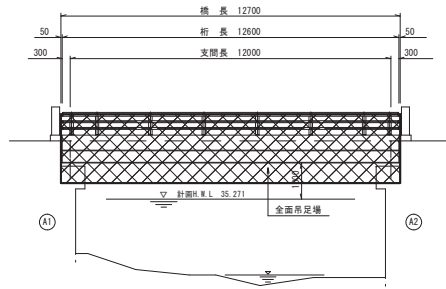
設計条件

橋		二等橋
上部工形式	橋	活荷重合成H桁
	橋長	12,700m
	桁長	12,600m
	支間長	12,000m
	全幅員	4,800m
有効幅員		4,000m
	斜角	75° 50'
舗装	アスファルト舗装	
支承	ゴム支承	
橋台	逆T式(確定)	
基礎	-	

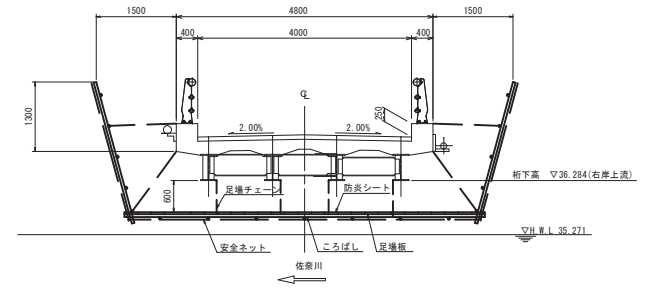
工事名	平成29年度 社会資本整備総合交付金事業 落合橋外2橋 橋梁修繕工事		
図面名	(落合橋) 修繕工一般図		
年月日			
尺度	図示	図面番号	
会社名			
事務所名	多気町		

# 仮設足場工 参考図

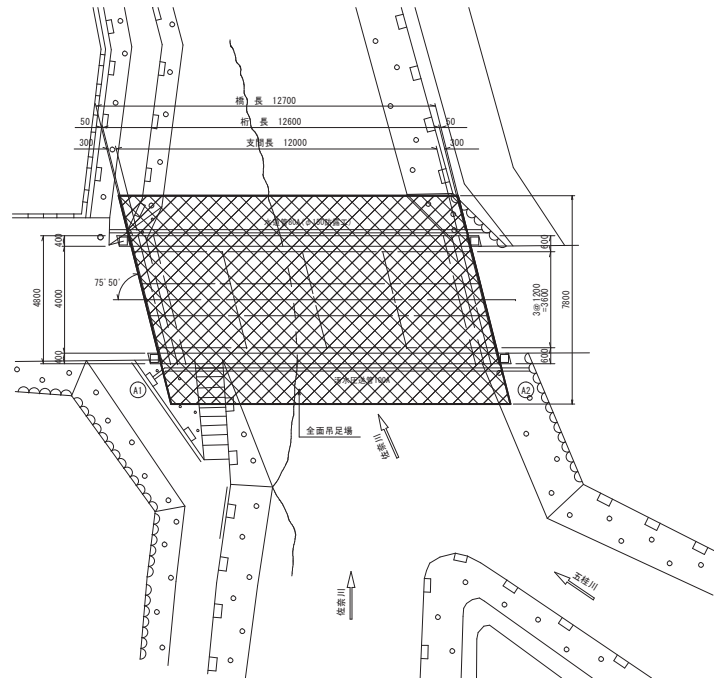
側面図  
S=1:100



断面図  
S=1:50



平面図  
S=1:100

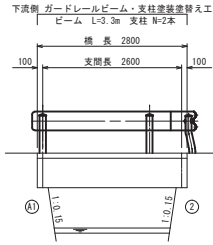


工事名	平成29年度 社会資本整備総合交付金事業 第4種第2種 橋梁修繕工事		
図面名	(簿合編) 仮設足場工参考図		
年月日			
尺度	図示	図面番号	
会社名			
事務所名	多気町		

# 相可二区2号橋 修繕工一般図

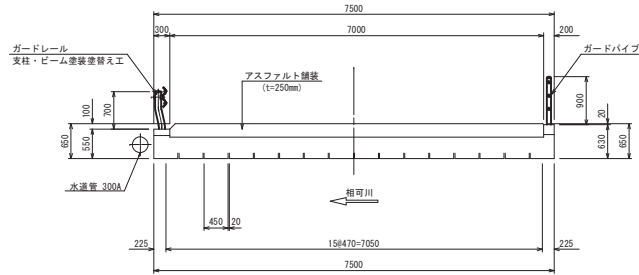
側面図

S=1:50

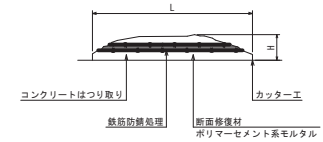


断面図

S=1:50



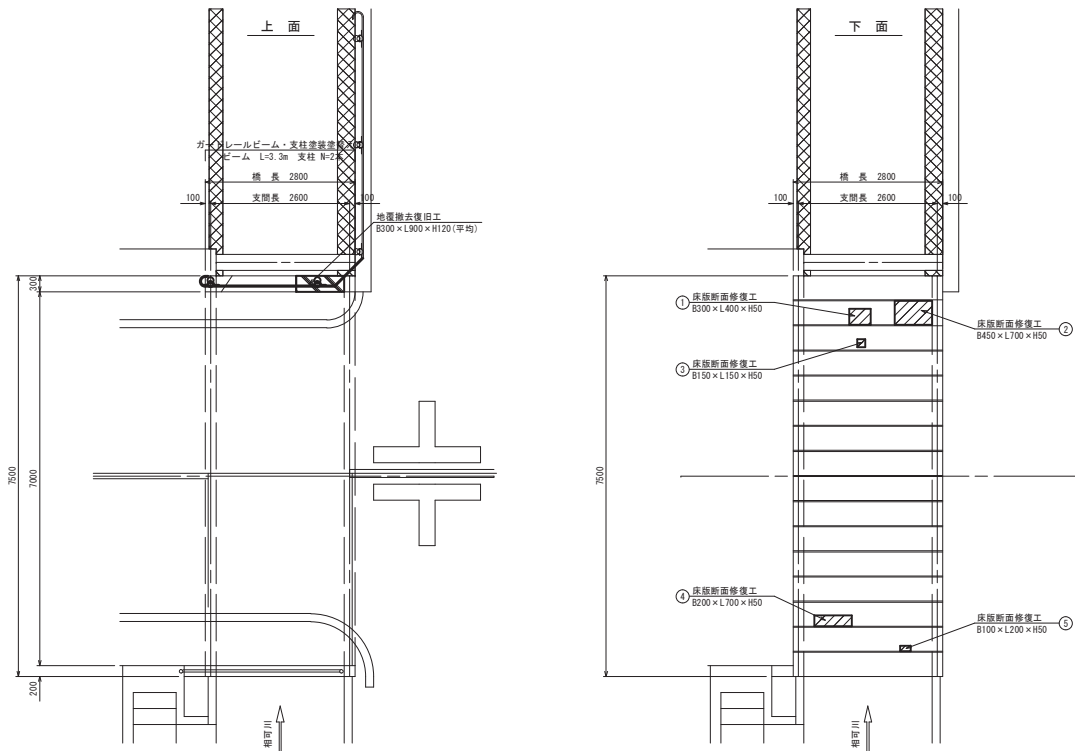
断面修復工詳細図



※ 断面修復については修復箇所の周囲にコンクリートカッターを使用すること。  
 なお、コンクリートカッター使用時に鉄筋を切断しないようにすること。  
 ※ 断面損傷部の補修においては、施工前に詳細調査を行い、施工位置・寸法を確認すること。  
 施工位置・寸法が現状と不適合と判断される場合には、別途監督員と協議すること。  
 ※ 鉄筋防錆処理については  
 カップワイヤー等で十分に鉄筋をケレンした後、水洗いをし下地及び鉄筋を清掃する。  
 防錆材は鉄筋に均一に塗布する。

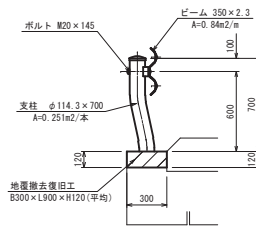
平面図

S=1:50



ガードレール詳細図

S=1:20



※地覆撤去復旧工については平面図に示した箇所とする。  
 材料はコンクリート(18-8-25B8)とする。

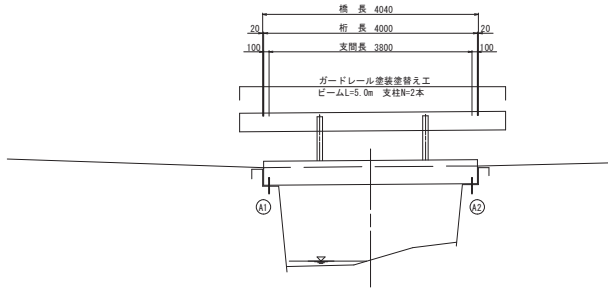
設計条件

橋	橋格	-
上	上部工形式	RC床版
	橋長	2,800m
	支間長	2,600m
	全幅員	7,500m
	有効幅員	7,000m
H	斜角	90° 00'
	舗装	アスファルト舗装
下	支承	-
	橋台	石積
	基礎	直接基礎(推定)

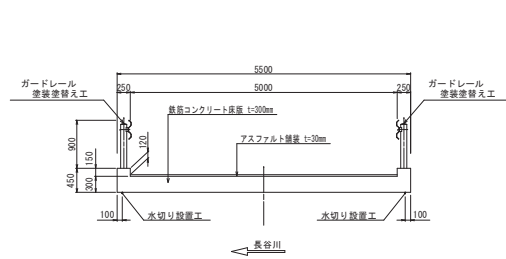
工事名	平成29年度 社会資本整備総合交付金事業 落合橋外2橋 橋梁修繕工事
図面名	(相可二区2号橋) 修繕工一般図
年月日	
尺度	図示 図面番号
会社名	
事務所名	多気町

# 神坂7号橋 修繕工一般図

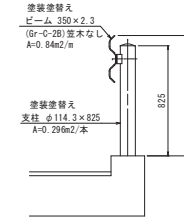
側面図 S=1:50



断面図 S=1:50



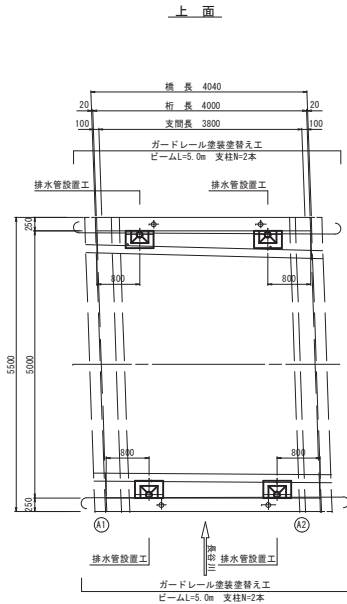
ガードレール詳細図 S=1:20



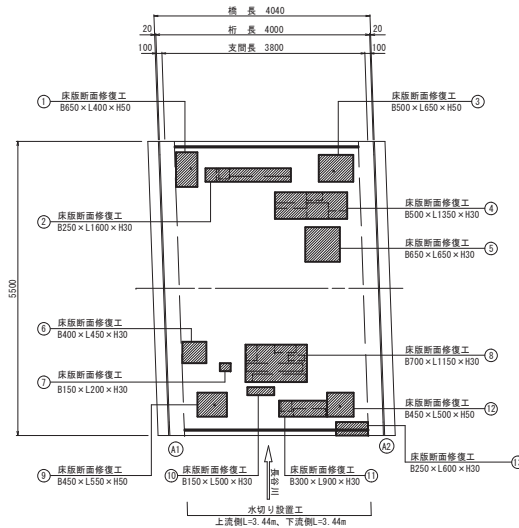
設計条件

工種	上部工形式	RC 単軌床版
I	荷重	-
	橋長	4,040m
	桁長	4,000m
	支間長	3,800m
	全幅員	5,500m
	有効幅員	5,000m
	斜角	右 88° 00'
II	床版	鉄筋コンクリート床版 t=300mm
	舗装	アスファルト舗装 t=30mm
	支承	-
	橋台	重力式
工種下	基礎	-

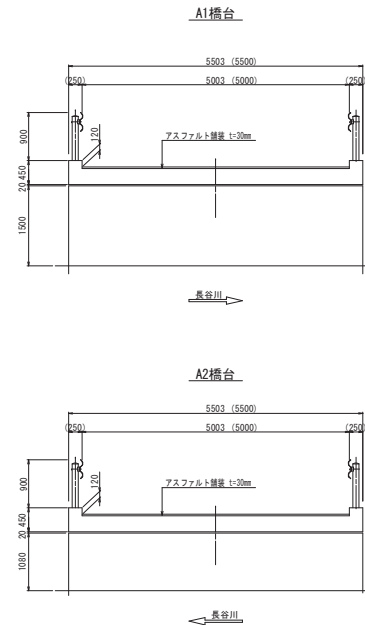
平面図 S=1:50



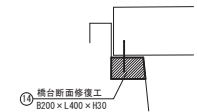
下面



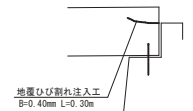
正面図 S=1:50



A1橋台側面図 (上流側) S=1:25



A2地覆側面図 (上流側) S=1:25

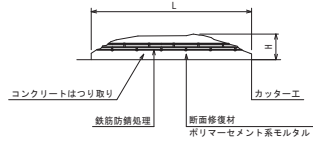


※( )の数量は、置寸法を示す。

工事名	平成29年度 社会資本整備総合交付金事業 橋梁修繕工
図面名	(神坂7号橋) 修繕工一般図
年月日	
尺度	図示 図面番号
会社名	
事務所名	多気町

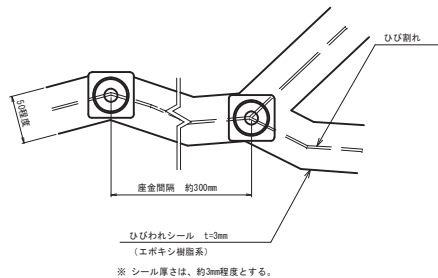
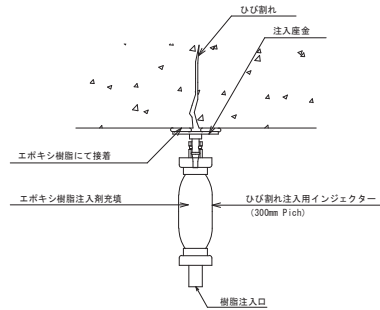
# 修繕工詳細図

## 断面修復工詳細図



- ※ 断面修復については修復箇所周囲にコンクリートカッターを使用すること。
- ※ なお、コンクリートカッター使用時に鉄筋を切断しないようにすること。
- ※ 断面損傷部の修復においては、施工前に詳細調査を行い、施工位置・寸法を確認すること。
- ※ 施工位置・寸法が現状と不適合と判断される場合には、別途監督員と協議すること。
- ※ 鉄筋防錆処理については、カップワイヤー等で十分に鉄筋をケレンした後、水洗いをし下地及び鉄筋を清掃する。
- ※ 防錆材は鉄筋に均一に塗布する。

## ひび割れ補修詳細図

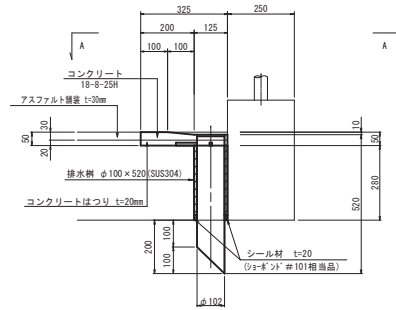


- ※ ひび割れ部の補修においては、施工前に詳細調査を行い、施工位置・寸法を確認すること。
- ※ 施工位置・寸法が現状と不適合と判断される場合には、別途監督員と協議すること。

## 排水管設置工詳細図

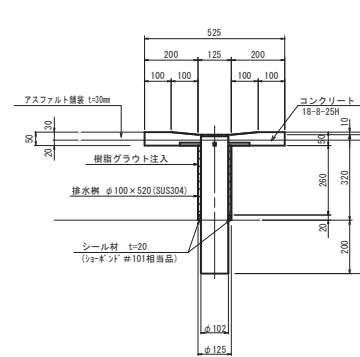
S=1:10

### 断面図



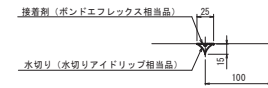
※コンクリートの打設面は相面にすること。

### B - B

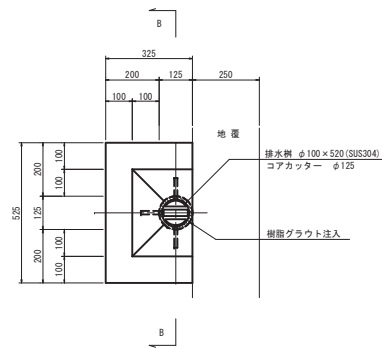


## 水切り設置工詳細図

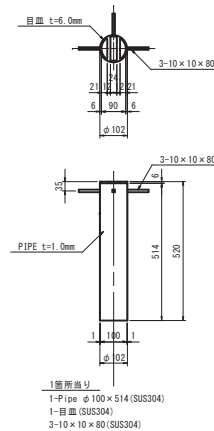
S=1:4



### A - A



### 排水樹詳細図



- ※1) 排水樹はNET18登録番号 02-00013-V相当品とする。
- ※ また管の斜切りについては、地層側が緩くなるように排水樹を製作すること(断面図参照)。
- ※2) 施工にあたっては、事前に鉄筋調査を行い鉄筋を切断しないようにすること。

工事名	平成29年度 社会資本整備総合交付金事業 第6期外2橋 橋梁修繕工事
図面名	(神坂7号橋) 修繕工詳細図
年月日	
尺度	図示 図面番号
会社名	
事務所名	多気町